

車座会議報告書

産業厚生常任委員長 久川 治次郎

6月16日にボランティア連絡協議会の24名の皆さんと意見交換会を行わせていただきました。

討議テーマ

- ①団体が抱える課題と活性化策について
- ②町行政や議会に対する要望について

会議では4班のグループに分かれてのグループ討議が活発に展開された後、各班の代表者から意見発表がありました。その中から出た意見の一部をご紹介いたします。

団体が抱える課題と活性化策については、ボランティア会員が減少傾向にあり、会員の年齢が上がっていることと新しい会員が増えていることが課題である。活性化策については、子どもの頃からボランティアの大切さを教育していくことが大切であるので、各小・中学校でボランティア担当の先生を決めていただき、今、相生地区で行っているようなボランティア教育を今後、全地区に広めていきたいなどの意見をいただきました。

行政や議会に対する要望については、若者定住対策として町営住宅の家賃をもっと安くして若者が安心して暮らせるような環境をつくってほしい。また、ボランティア活動を続けていくためには資金が必要になるので、もっと補助金を増やしてほしいなどの要望をいただきました。

我々議会としましても今回いただきましたご意見、ご要望について、行政側と充分協議し、ボランティア心の向上と教育によりボランティア人口の増加に繋がる施策を展開していきたいと考えております。

私たち議会は、今後も引き続き各種団体の方々や地域の皆さんとの意見交換会を実施したいと考えておりますので、意見交換を希望される団体・地域の皆さんには、遠慮無くお近くの議員または議会事務局までお申し付けください。ご連絡をお待ちしております。

